

ArkGioia

株式会社アーク・ジョイア
東京都文京区音羽1丁目1番7号
正進社ホールディングスビル 4F
2022年2月吉日

estelon

エステロン

新製品発売のご案内

お客様各位

拝啓 時下ますますご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り篤く御礼申し上げます。

弊社ではこの度、エストニア / estelon (エステロン) より新たなスピーカー・システム “XB Diamond Mk II” を発売致します。

本機は既発売の“Forza”と“YB Mk II”の中間を担う意欲作です。同社フラグシップモデル“Forza”の設計を通して得た技術を活かしながら、「コンポジット材」を鑄造する独自のキャビネット・デザインを踏襲し、進化を遂げた新次元のエステロン・サウンドを体験頂けます。

つきましては添付の資料をご高覧いただき、ご検討ならびにご試聴いただければ幸いに存じます。

敬具

記

- | | |
|---------|---|
| ■ブランド名 | estelon (エステロン / エストニア) |
| ■製品名 | XB Diamond Mk II フロアスタンディング リアバスレフ型 スピーカー・システム |
| ■希望小売価格 | 5,800,000 円 (税別・ペア) 6,380,000 円 (税込・ペア) |
| ■仕上げ | グロス・ブラック、マット・ブラック グロス・ホワイト、マット・ホワイト グロス・コバルト・ブルー ※5 仕上げ一律価格 |
| ■発売日 | 2022年3月1日 |

以上

★音場感あふれる“音楽”を再生する“ノン・レゾナンス・キャビネット”

同社におけるフラグシップモデル“Forza(フォルツァ)”

では、更なる研究の末に辿り着いたより強度の高い新素材と絶妙な配合のバランスによって完成した、新設計キャビネットを採用しました。

このキャビネットは共振点の異なる複合素材（大理石パウダーや樹脂等のコンポジット材）をミックスした上で鋳造による均一な一体成型を採用することで、高剛性・高密度を確保。音楽信号はより高純度を極め、ダイナミクスの向上、リアルな楽器や広大な音場を忠実に再現します。

従来モデルのキャビネットと比べ更に剛性と共振抑制の向上を実現した事で、同社の特徴ともなる

「コンポジット材」によるメリットを存分に活かした“ノン・レゾナンス・キャビネット”をまさに体現する進化を遂げました。



Forza

“XB Diamond Mk II”のキャビネットは“Forza”と同様の新素材配合による新設計のキャビネットが採用されています。キャビネットの不要振動がさらに低減したことで、搭載するドライバー・ユニットのパフォーマンスを最大限まで発揮させ、より純度の高い音楽再生を可能とします。

緻密にデザインされたキャビネット形状は非常に複雑で、一般的なボックスデザインとは大きく異なります。キャビネットは平行面を排除し、内部の表面をも美しく湾曲させている構造により、内部定在波を極限まで抑制します。そして音響工学に基づいた最高なパフォーマンスを発揮するドライバー・ユニットの配置、適切な内部チャンバー処理により、優れたS/Nながら音楽の情緒を感じる事が出来る唯一のサウンドを再生します。



XB Diamond Mk II

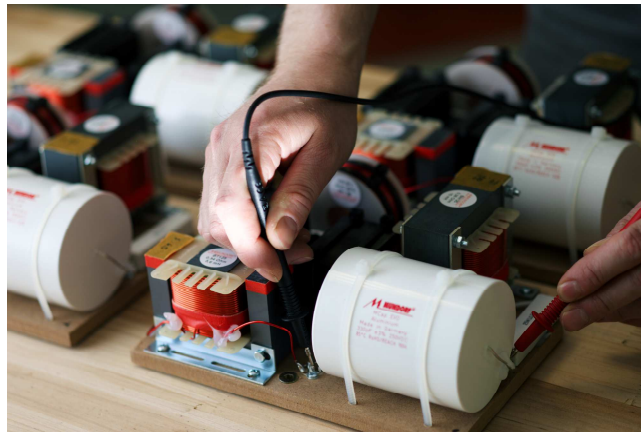
★豊かな低域の量感に寄与するバスレフ構造

“XB Diamond Mk II” はリアバスレフ方式を採用、ドイツ Accuton 製のウーファーユニットの背面側に 1 つのバスレフポートを設けています。ツイーターとミッドレンジは独立したチャンネルを持ち、ウーファーユニットからの影響を受けない構造としています。

キャビネット内部に 3 か所設けられた補強リブ、吸音材を適切に配置することで、ポートノイズを除去、解像度が高い低域に量感をもたらし、音源に内包された空気感、ホログラフィックに浮かび上がる音像を提供します。

★クロスオーバー・ネットワークの再構築

進化したキャビネットのポテンシャルを最大限発揮させるため、ネットワーク回路の設計や使用する素材、キャビネット内配置に至るまで最適化されています。クロスオーバー回路は、ツイーター/ミッドレンジは 2 次カーブ (-12dB/oct)、ミッドレンジ/ウーファーは 3 次カーブ (-18dB/oct) を採用。OFC (無酸素銅製) のコイル、さらに Mundorf (ムンドルフ) 製 Silver Gold Oil コンデンサを搭載、取り付けるはんだも高品位な物を使用しており、全てが熟練の技術者による手作業によって組み上げられます。



アンプからの音楽信号をドライバー・ユニットに伝送する内部配線材にも、一切の妥協の無い素材選定を行っています。ハイエンドケーブルメーカーとして有名な Kubala-Sosna (クバラ・ソスナ) 製の純銅ケーブルを採用することで、3 次元的な空間の表現、透明感の溢れる音楽そのものを奏でることができます。これらクロスオーバー回路はキャビネットの底面に独立した空間に格納されています。

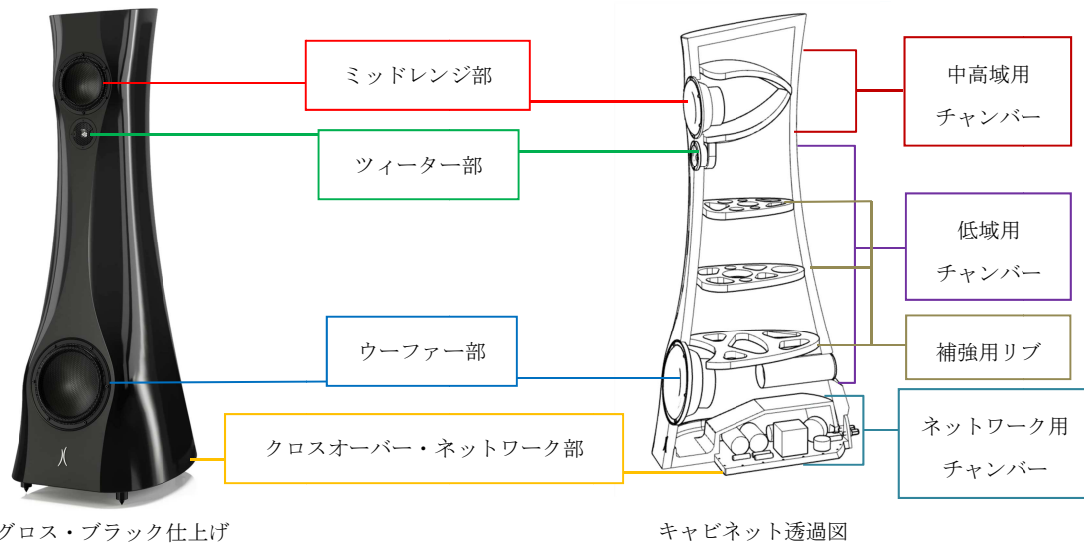
★芸術品のような美しい仕上げ

美しいキャビネットの成型、塗装は全てエストニア国内にて行われています。

グロス・ブラック、マット・ブラック、グロス・ホワイト、マット・ホワイト、

グロス・コバルト・ブルーの合計 5 つの仕上げをラインナップ (色見本は巻末を参照)。

■独創的なユニット配置、内部設計



グロス・ブラック仕上げ

キャビネット透過図

【ウーファー部】

“XB Diamond Mk II” のウーファー / ミッドレンジのクロスオーバーは 85Hz であり、指向性が低く音の発生場所が特定しづらい音域です。ウーファーが床に近い位置に搭載されていることで、低域は床の表面と音響的に結合し、豊かな低い帯域の再生を実現します。

しかし過剰な響きも音質に悪影響を及ぼすため、フット部はスパイク構造となっています。全てのスパイク部は高さを微調整出来ることで、床面に対して水平に設置させることが可能になり、ドライバー・ユニットは正確な位相で駆動します。さらにウーファーを、ミッドレンジ、ツイーターよりも若干前方に設置することで、緻密なタイムアライメント調整も施しています。

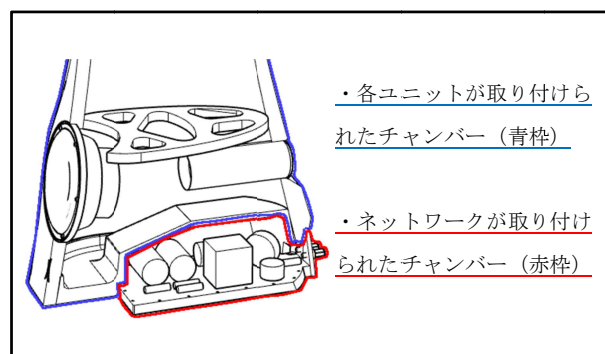
【ミッドレンジツイーター部】

「ウーファー」と「ミッドレンジツイーター」は内部で別々の部屋になっているため、相互の干渉を最小限に抑制します。さらにミッドレンジをツイーターよりも高い位置に配置することで、高音域から低中音域まで不要な着色（カラーリング）のない理想的なステレオフォニックを發揮し、正確な位相管理を実現します。

全ての同社製スピーカー・システムはこの考え方により、ミッドレンジ/ミッド・ウーファーはツイーターの上部に配置されています。

【クロスオーバー・ネットワーク部】

ネットワーク回路は、各ドライバー・ユニットが搭載されたチャンバーとは物理的に分離されたキャビネット底面のチャンバー内に搭載されています。そのためネットワーク回路は、ドライバー・ユニットの振動による悪影響を受けず、キャビネットの内部容積を最大限確保する事にも寄与した理想的な構造を実現しています。



■Accuton 製ドライバー・ユニット群を搭載

本機では全て Thiel & Partner 社の Accuton ブランドのドライバー・ユニットを採用。

●中域

音楽の中で中核の帯域を担うミッドレンジには、逆ドーム型 158 mm セラミック・ユニットを搭載。インパルス応答に優れており、全高調波歪み (THD) と相互変調歪み (IMD) が非常に低いため、透明度の高い音楽再生を奏でます。

セラミックはダイヤモンドに次ぐ硬度を持つ事で、広帯域を担う中音域においても、音楽の細部まで如実に再現します。ダイヤフラムの反応速度や精度が極めて高いため、不要な振動を大幅に低減、更に歪のないフラットな周波数応答と相まって中音域の歪は最小限に抑えられ、ユニットの付帯音を感じさせないナチュラルな再生を実現します。

●高域

同社のフラッグシップモデル“Forza”と同じ 25mm ダイヤモンド・逆ドーム・ツイーターを搭載。人間の可聴範囲に歪みを与えることなく、最高周波数 (最大 60 kHz) までの音を再生できます。ダイヤモンドは最も硬い既知の材料 (モース硬度 10) であるからこそ、超高速な振動を高精度で理想的に駆動する事が可能です。さらには高減衰特性を合わせ持つことで、歪みを極限まで抑えた伸びやかで透明度溢れるサウンドを提供します。

ダイヤモンドの特性は非常に優れていますが、反面多くの高調波歪みを引き起こす原因にもなり、適切な対処をしないと硬質で不自然なサウンドを再生します。

同社のスピーカーでは、キャビネットの内部容積や内部定在波を計算し、ワシルコフ氏による度重なるリスニングテストをもとに開発されるクロスオーバー・ネットワークによって、まさしく臨場感あふれる「音楽」だけが眼前に生み出されます。様々な楽器や声の輪郭、コンサートホールにいるかのような定位感や空気感は、同社のスピーカーならではのエモーションを感じて頂けます。

●低域

中域と同様、逆ドーム型 220mm 口径セラミック・サンドウィッチ構造のドライバー・ユニットを搭載。軽量でありながら剛性、内部減衰性に非常に優れています。また優れた直線性も有していることで、時間当たりの振幅が少ない低域においても正確な位相で深い低音再生を実現します。



■ エステロン社について

エステロン社は、2010年にバルト3国のひとつ、エストニア共和国の首都であり世界遺産にも登録された美しい町タリンで設立されたハイエンド・オーディオメーカーです。

全ての製品を手掛けるエンジニア、Alfred Vassilkov(アルフレッド・ワシルコフ)氏は25年以上の永きにわたり旧ソ連、エストニアの地でオーディオ設計に携わっていました。

かつてソビエト連邦に属していたエストニアは資源が限られた共産社会による自由な製品づくりが出来ない中で試行錯誤を繰り返していたワシルコフ氏は、1991年ソ連からのエストニア独立後、晴れて革新的な製品づくりが出来るようになり自身が培った技術と才能を開花させたのです。エストニアの緑豊かな自然や広大な景観からのインスピレーションを受け、ハイクオリティ・エンジニアリングとデザインの美しい調和を達成しています。

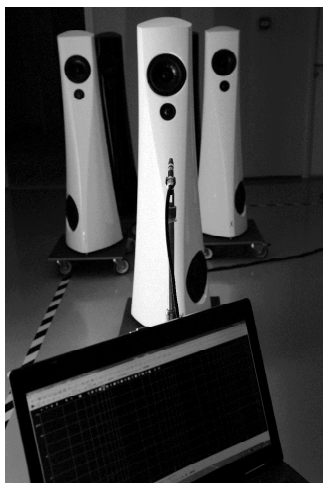


アルフレッド・ワシルコフ氏

■ エステロンの追求する、パーフェクト・クオリティ

エストニア共和国の首都タリンに所在する同社工房にて一台一台が手作業で組み上げられ、サウンド調整においては幾多の測定項目を経たのち最終的にはワシルコフ氏自身によるリスニングテストが行われます。厳密なリスニングテストをクリアしたものだけがワシルコフ氏による承認がなされ、出荷されます。

パーフェクト・クオリティを追求するエステロンの製品は、全てにおいて一切の妥協を許しません。



■ Specification

| | |
|--------------|---|
| ブランド名 | estelon (エステロン) |
| 製品名 | XB Diamond Mk II |
| 形式 | 3 ウェイ 3 スピーカー フロアスタンディング リアバスレフ型 |
| 使用ドライバー・ユニット | 高域：25mm ダイヤモンド・逆ドーム・ユニット 1基 中域：158mm セラミック・逆ドーム・ユニット 1基 低域：220mm セラミック・逆ドーム・ユニット 1基 |
| 周波数特性 | 22～60,000Hz |
| クロスオーバー周波数 | 85Hz / 2.1kHz |
| 出力音圧レベル | 87dB / 2.83V |
| 公称インピーダンス | 6Ω |
| スピーカー端子 | シングル・ワイヤ端子 |
| 寸法 | W420 × D590 × H1260mm |
| 重量 | 69kg / 本 |
| 仕上げ | グロス・ブラック、マット・ブラック グロス・ホワイト、マット・ホワイト グロス・コバルト・ブルー ※5 仕上げ一律価格 |
| 希望小売価格 | 5,800,000 円 (税別・ペア)、6,380,000 円 (税込・ペア) |

■ 色見本





